

會學濟經學大國帝都京

# 叢論濟經

號二第 卷四十五第

月二年七十和昭

## 論 叢

日本經濟學の源流……………經濟學博士 本庄榮治郎

資本主義的論理……………經濟學博士 柴田敬

江戸時代の經濟問題……………經濟學士 堀江保藏

海運政策の積極性……………經濟學士 佐波宣平

景氣循環過程に於ける消費財產業の意義……………經濟學士 青山秀夫

## 研 究

サス『人口論』の形而上學的基礎……………經濟學士 白杉庄一郎

事變下の中小工業と金融……………經濟學士 田 競

トーマス・マンの重商主義思想……………經濟學士 堀江英一

## 說 苑

宋代の農田に就いて……………經濟學士 穗積文雄

## 附 錄

彙報・外國雜誌論題

# 彙報

## 經濟學會

○十二月例會 十二月十六日(火)午後一時半より樂友會館に於

いて開催され、左の報告があつた。

景氣循環過程に於ける資本財産業と消費財産業

青山 講師

經濟論叢前號參照。

ナチスにおける人間像

中川 助教授

ナチス人間像の意義を明にして、それは孤立的な個人として考へらるゝ人間像ではなく獨逸國そのものが生きた本質として且又意欲として成員の一人一人の胸に生きた現實となつたときその獨逸國を具現するものとして考へらるゝ人間の像であるとなし、信念的實踐的闘争的等の特徴をあげ更に之を舊時代の人間像と比較して新しき人間像は國民型軍人型農村型北方型等なりとなし最後に新しき人間像のもつ長短を考察した。

當日の出席者——沙見、八木、柴田、大塚、中川、中谷、佐波、徳永、靜田、白杉、青山、田杉、松井、堀江の諸先生。  
青盛、大谷、岡部、尾上、河野、幸島、齋藤、前田、三谷、山崎、の諸氏。

○會員勳靜

彙報